

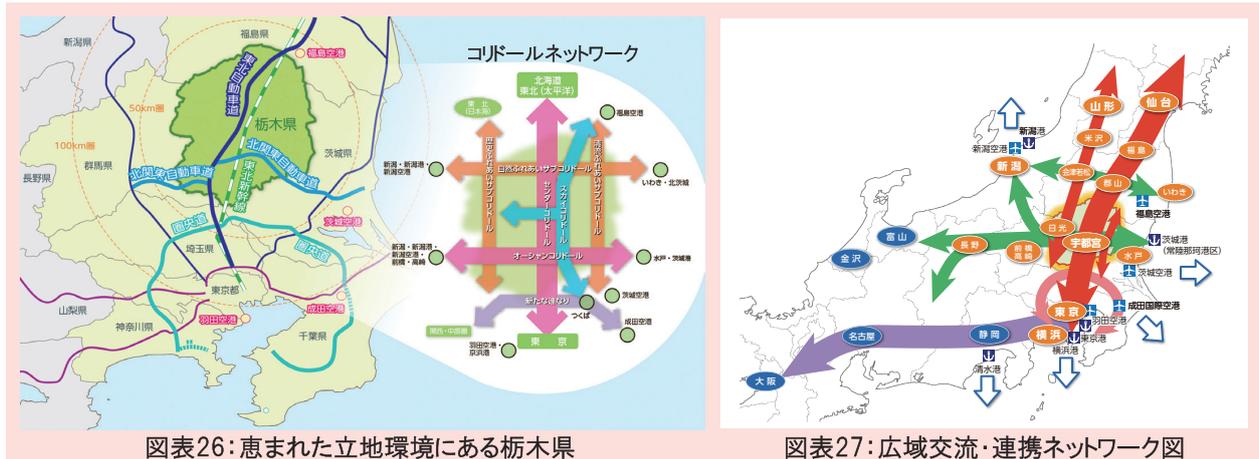
3 栃木県の強み

1 地理的優位性

①強み

関東地方北部に位置し、東京に60～160km圏と近接しており、日常の生活や経済活動に利便性や優位性の高い立地環境にあります。

また、東北自動車道や東北新幹線などの東京と東北・北海道を結ぶ南北軸と、北関東自動車道などの太平洋・日本海を結ぶ東西軸が交差する交通の要衝としての地理的優位性も有しています。



図表26: 恵まれた立地環境にある栃木県

図表27: 広域交流・連携ネットワーク図

②ポテンシャル

- 今後、圏央道の全線開通や北海道新幹線の延伸、リニア中央新幹線の開業といった広域交通ネットワークの整備が進むことで、広域的な拠点がつながるコリドール※ネットワークの強化や国内外との交流・連携が一層促進され、**人・モノの交流の要衝としての役割が高まる**ことが期待されます。
- 大規模な地震が少ない、広大で安全な県土形成や首都圏への近接性等の強みを活かし、**首都直下地震など大規模災害時のバックアップ拠点として、本県の価値がより一層高まる**ことが期待されます。

※ 交通基盤等を軸に、人、モノ、技術、産業、文化などが活発に交流し、これらを通して有機的な連携が図られる地域の連なり

2 観光資源

①強み

四季折々に表情を変える山々や清流、里山、田園も含めた豊かな自然は、訪れる人々にやすらぎや癒しをもたらす観光資源でもあり、県民はもとより、国内外から訪れる多くの人々を魅了し、全国有数の観光地である日光や那須地域の魅力のひとつにもなっています。



図表28: 華厳の滝(日光市)



図表29: 第2いろは坂(国道120号/日光市)



図表30: 茶臼岳(那須町)

②ポテンシャル

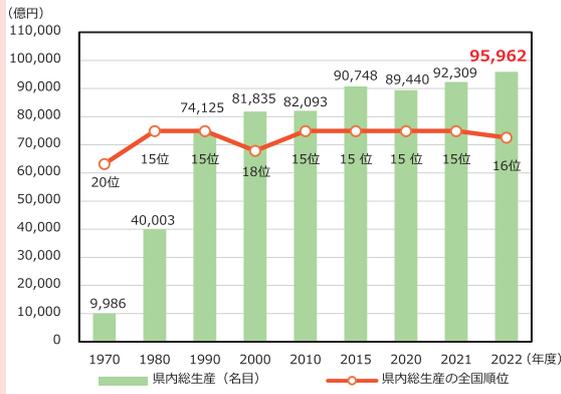
- 二次交通の利便性向上やサイクルツーリズムなど周遊観光の促進により、**観光産業の発展とともに地域活性化**が期待されます。

3 活力ある産業

①強み

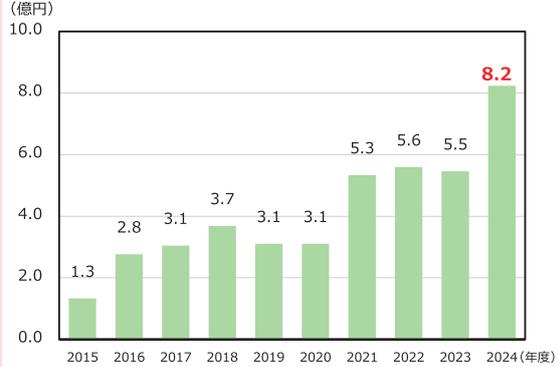
1960年代後半からの積極的な工業化政策による第2次産業の成長に伴い、全国有数の「ものづくり県」として発展を遂げ、県内総生産は平成27(2015)年度に9兆円を超えています。

また、県産農産物輸出額については、令和3(2021)年度以降、5億円を超え、令和6(2024)年度は過去最高の8.2億円となっています。



資料:内閣府「県民経済計算」(2025年12月時点)

図表31: 栃木県の県内総生産(名目)と全国順位の推移



資料:栃木県農政部集計

図表32: 栃木県産農産物の輸出額の推移

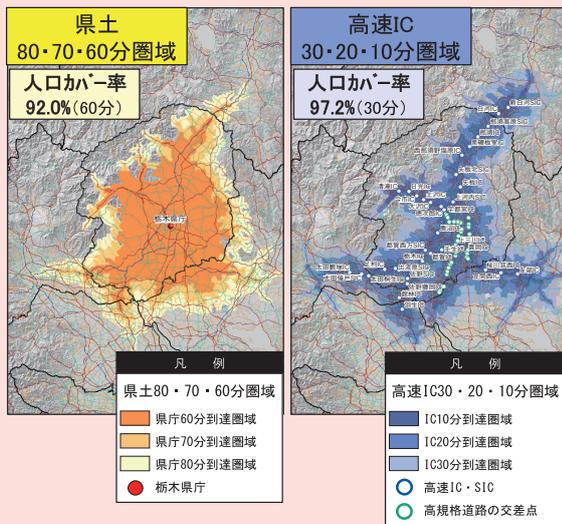
②ポテンシャル

● 高い定時性と効率的な移動を実現する交通ネットワークの確保により、本県産業の持続的な成長・発展につながることが期待されます。

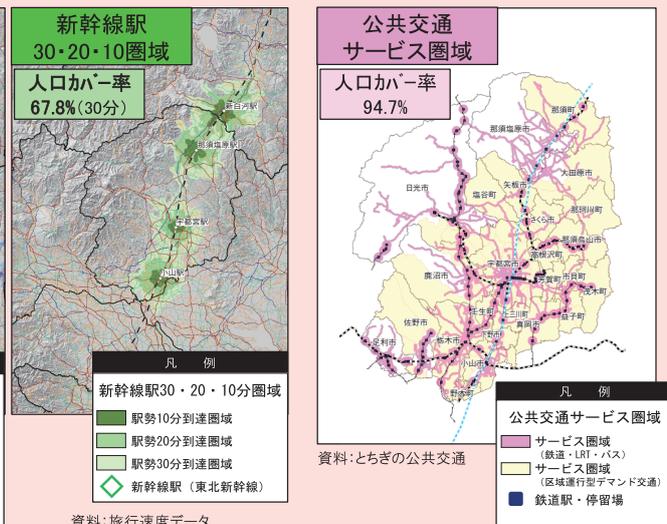
4 交通ネットワークの充実

①強み

県土60分及び高速IC30分圏域、また公共交通サービスの人口カバー率が90%以上を達成し、県内の移動の利便性を大きく高めています。



図表33: 3種類圏域図



図表34: 公共交通サービス圏域

②ポテンシャル

● これまでの道路整備等の成果を最大限活用し、県域を越えた人やモノの交流を更に活性化させることで、本県の更なる成長・発展につながることが期待されます。